

【きょうのめあて】 だいにばめんについて くわしく かんがえよう

こくご

5がつ8にち (きんようび)

きょうかしょ32ページ~39ページ
「はなの みち」

めあてについて

今日のめあては、第二場面 (34・35ページ)「くまさんが、ともだちの りすさんに、ききに いきました。」について、文章やさし絵から思ったことを、自由に自分の言葉でお話することができることです。

よろしくお願いいたします。

活動①

●きょうかしょ 32ページを あけましょう。

「はなの みち」という おはなしの つづきを します。

どんな おはなし だったか、ぜんぶ よんで みましょう。

(「読む姿勢」をして読みます。)



①おうちの人といっしょに読む

②おうちの人と、一文ずつ交代で読む

③ 一人で読む

①②③のどのパターンでもよいです。お子さんに合わせて選んでください。

☆ポイント☆ ゆっくりで構いません。

読み終わったら、「上手に読めたね」とほめてあげてください。

活動②

●きょうは、34・35ページの ばめんを くわしく がくしゅう します。

34・35ページを ひらけましょう。

もういちど 34ページを よみましょう。

「くまさん[㊦]、ともだちの りすさん[㊧]、 ききに いきました。」

☆ポイント☆ 「〇〇が、〇〇に どうする」という文型です。

主語が「くまさん」であることをおさえ、

口を大きくあけて、はきはきと読めるといいですね。

*一人で読めるように、何度も練習してあげてください。

活動③	<p>●くまさんが、りすさんに なんと ききに いったと おもいますか。</p> <p>そうそう してみましよう。</p>
	<p>(「くまさんは、ふくろを見つけていたね。その中にはいっぱい何かが入っていたね。</p>
	<p>そのふくろをもって、りすさんに 何と言って聞きにいったと思うかな。教えて。」</p>
	<p>と、聞いてあげてください。</p>
	<p>(子どものこたえの例：</p>
	<p>① 「ねえ、ねえ、りすさん、このふくろの中のものは、何だと思う？」</p>
	<p>② 「りすさん、このふくろの中に入っているものは何かな。 どんぐりだと思うけど、りすさんはどう思う？」</p>
	<p>③ 「りすさん、ちょっと見て。このふくろに何か入っているんだ！」</p>
	<p>☆ポイント☆ 実際に、くまさんが何と言ったのか、<u>セリフのように言う</u>ことで想像しやすいと思います。</p> <p>おうちの方がりすさんになり、「こんにちは、くまさん」</p> <p>「どうしたの、くまさん」「ふくろのなかを みせて。」など、</p> <p>役になりきってやりとりをすると想像しやすく、面白いと思います。</p>